



昭和21年五度目の甲子園出場決定



開会式セレモニー



昭和14年甲子園開会式



函館オーシャンスタジアムにて

山形東高 同窓会 会報 第72号

令和2年4月20日

【発行所】〒990-8525 山形市緑町1-5-87
山形東高同窓会事務局
TEL・FAX (023) 631-7501

【URL】 <http://www.yamatoudousokai.com/>

【E-mail】 info@yamatoudousokai.com

【発行人】 渡辺 季子

【印刷所】 坂部印刷(株) TEL (023) 631-2056

函館遠征～伝統の素晴らしさを感じながら～

昨年度、第100回大会を迎えた甲子園大会の歴史の1ページとして「終戦直後の昭和21年夏の大会において、対戦相手であった函館中に敗れた山形中が自分たちの分まで頑張ってくれと持参した米を残していった」というエピソードが話題となり、それをきっかけに函館中部高校(旧函館中)との再戦が計画されました。そして、本校外部コーチの沼田尚氏が函館中部高校野球部OBということもあって、沼田氏にご尽力いただき、函館遠征という形で73年ぶりの対戦が実現することとなりました。両校ともにそれぞれの学校や野球部の歴史を振り返るなど、単なる練習試合ではない歴史の重みを感じながらの再戦となりました。

再戦は8月6日に函館オーシャンスタジアムにて行われました。試合前には山形の米と函館のジャガイモを交換するセレモニーも行われ、73年前の先輩方の想いの一端を感じることができました。この遠征がなければ忘れ去られてしまいそうな大切な歴史を次の世代へ伝えていく意義のあるものになったと思います。

佐藤俊一校長の始球式で始まった1試合目は、先制され3点を追いかける展開になりました。しかし今年のチームはそこで踏ん張る力があり、3回に追いつくと6回には2点取って逆転し、7回にも2点を追加して突き放すことに成功しました。そして相手の反撃を9回の1点に抑え7対4で勝利しました。午後から行われた2試合目も、前半は投手戦、後半は乱打戦という展開でしたが打ち勝って9対8で勝利しました。

実力も体格も、そしてユニフォームまでもとても似た両校だっただけに緊張感のある見応えのある試合となりました。そのような中で73年前の雪辱を果たし、さらに対戦成績を2勝1敗と勝ち越しに成功した勝因は、ずばり“涼しさ”でした。その日は最高気温が30度を超え、函館としてはかなり暑い日だったらしく、相手選手からは「こんな暑さの中で野球なんてやってられない。」という声が聞こえてくるほどでした。実際に脚や背中が攣ってしまう選手が出るなどかなり大変そうでした。しかし、35度を超える山形からやってきた我々には、湿気が少なく風が心地よく涼しく感じ、最後までびのびのび野球ができたことが勝利につながったものと思われま。試合後に「来年の夏は山形で試合をしましょう。」とお誘いしたら、「35度を超えるところで試合をするなんて、考えただけでもぞっとするのでお断りします。」と、冗談半分に笑いながらでしたが丁重に断られてしまいました。それでも、せっかくの交流が今回限りというのももったいないので、来年度以降も何らかの形で交流を深め、いつの日か甲子園で対戦できるようお互いに努力していこうということになりました。

今回の遠征は、73年前の出来事が話題となりさまざまな偶然が結びついて実現に至りました。歴史ある山形東高校だからこそ多くの人とのつながりがあり、力を貸してくれる人がいるのだと思います。このような環境で野球ができる幸せを改めて感じたところです。101回を迎えた夏の甲子園山形大会で令和最初の選手宣誓が本校に決まったことも含め、新しい時代に新たな気持ちで甲子園を目指す良いきっかけとなりました。

最後に、遠征実現のためご尽力いただいた皆様、函館にまで来て応援して下さった渡邊季子事務局長を始めご支援いただいた同窓会の皆様に感謝し、報告いたします。

野球部部长 竹田 直道 (東龍会)



ご挨拶

同窓会会長 高橋 一夫

(山東21回・四六会)

2020年4月で、山東同窓会会長になってようやく1年が過ぎます。この間に抱いた印象を申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。

学校関連行事と地域・職域の同窓会に出席させていただき、その都度挨拶を試みたわけですが、難しいものですね。

私の住んでいた世界は、公認会計士、およびそのかわりでの企業の経営陣との関係だけでした。

この限られた世界に慣れておられますと、自分の言動が周りからどのように受け取られるのかが大体予測できます。これは結構快適な状況です。

ところが、自分のなじんだ世界を離れると、なんと手も足も出ません。青春まっただ中の高校生、その保護者、高校生の教育に携わる先生、そして年齢的に幅の広い同窓生の方々とお会いすることが、まさにそれです。山東高での会議で議事を進行させておられますと、思わず夏目漱石の「坊っちゃん」の一場面を思い出し、「あれが、これか。」と思ったりして。

さらに、物事の判断基準も、「経済的合理性」から「豊かな人間性」へと重点を移さなければなりません。これがまた複雑な意思決定プロセスを要求することになり、頭を悩ますことになるわけです。しかしまあ、いずれにしても人の世界ですから、互いのコミュニケーションを図ることにより、その場その場、その時その時の状況になじむよう融和的に解決していくしかありませんね。

その点、この度勇退された佐藤俊一校長にはずいぶんと学ぶところがありました。ありがとうございました。私も、2年目に入りますが、同窓会の目的である「親睦を図ること」に焦点を合わせ努めます。

ところで、今年1月から表面化した「新型コロナ感染」のおかげで、なんと卒業式が大幅縮小、挙句は、同窓会入会式の中止と前代未聞の事が続いております。これにめげないで、また1年どうぞよろしく願いいたします。



ごあいさつ

校長 須貝 英彦

(山東32回・槌音会)

高校生として、教諭として、教頭として、そしてこのたび校長として、4度本校の校門をくぐることとなりました須貝と申します。同窓生の皆様方が母校に寄せる熱い思いを受け、後輩たちの育成に精一杯努めてまいり所存ですので、どうぞ宜しくお願いいたします。また、昨年度の同窓会まつりでは、槌音会の一員として幹事を務めさせていただきました。沢山の皆様をいただいたことに、この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、今年度は、新型コロナウイルスという不安に包まれながらのスタートとなりましたが、本校は創立136年目を迎えます。普通科と探究科の2学科体制で入学した1期生が3年生となりました。また、文部科学省の「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(グローバル型)」の研究指定を受けて2年目になります。大学、経済界、自治体等のご協力をいただきながら、「山東探究塾」における探究活動、シンガポール研修や模擬国連、地元企業訪問など、地域と世界をフィールドとした新しい学習に挑戦することにより、グローバルな視点をもって、主体的に地域の未来を切り拓く人が育ちつつあると大いに期待しております。一方、「文武両道」の伝統も健在であり、昨年度は、フェンシング、テニス、弓道においてインターハイに出場、新人大会では、卓球、駅伝などが東北大会出場を果たしたほか、全国レベルで活躍している文化部も多く、頼もしい限りです。

同窓会の皆様におかれましては、日頃より、このような生徒の活動に対して、物心両面にわたって多大なるご支援をいただき誠にありがとうございます。今後とも、報道や学校ホームページで積極的に発信してまいりたいと存じますので、温かく見守っていただくとともに、機会があれば生徒、職員に励ましの声をおかけいただければ幸いです。

最後になりましたが、山東同窓会のますますの発展を祈念申し上げ、あいさつといたします。

令和元年度事業報告

平成31年

- 4月8日 平成31年度入学式(学校)
- 4月10日 事務局会議
事務局構成・業務分担
- 4月18日 会計監査
- 4月20日 会報第71号発行

令和元年

- 5月10日 第1回役員会
平成30年度事業報告・決算
監査報告
令和元年度事業計画・予算
- 5月30日 山形市役所東高会総会
- 6月13日 第1回山形県庁東高会総会

- 7月9日 全国大会出場選手激励会
- 7月10日 米沢支部総会
- 7月12日 天童支部懇談会
- 7月19日 文化部OB会総会
- 7月27日 山中山東東京同窓会総会・懇親会
- 8月28日 第2回役員会
令和元年度同窓会総会
表彰式・まつり
- 8月30日～9月1日 山東祭(学校)
- 8月31日 「30歳になったら東高に帰ろう」
ホームカミングデー 和成会
- 9月6日 第1回評議員会
第1回・第2回役員会と同じ
- 10月19日 河北山東会総会

- 10月25日 酒田山東会総会
- 10月29日 創立135周年記念式典(学校)
- 11月2日 同窓会総会・表彰式・まつり
- 11月7日 東根支部総会
- 11月9日 尾花沢支部総会



駅伝大会 森谷体育部OB会長挨拶

令和元年度 予算執行状況

(平成31年4月1日～令和2年1月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額			収入済額	摘要
	当初	補正	計		
維持会費	6,600,000	130,000	6,730,000	6,716,000	ゆうちょ銀行1,237件、コンビニ1,006件
入会金	1,185,000	0	1,185,000	1,185,000	5,000円×237人
積立金より	0	0	0	0	
繰越金	322,291	0	322,291	322,291	
雑収入	400	19,610	20,010	20,010	利子、ご芳志
合計	8,107,691	149,610	8,257,301	8,243,301	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額			支出済額	摘要
	当初	補正	計		
総会費	90,000	△ 6,490	83,510	83,510	資料印刷、案内送付費等
会議費	500,000	△ 30,000	470,000	276,213	役員会、評議員会
表彰費	470,000	△186,738	283,262	283,262	表彰状、喜寿記念品 5,000円×43人等
会報発行費	3,000,000	58,547	3,058,547	2,081,087	16,800部 会報印刷、送付費
通信費	120,000	17,000	137,000	109,727	NTT、切手、葉書
慶弔費	140,000	58,000	198,000	127,852	慶弔電報、香典、饞別
諸手当	30,000	0	30,000	30,000	事務補助費
生徒活動支援費	300,000	△195,000	105,000	105,000	全国大会出場激励お祝
奨励費	30,000	22,000	52,000	27,540	同窓会賞副賞、賞状筆耕、賞状印刷等
活動推進費	600,000	0	600,000	595,507	支部総会お祝、若手学年支援、旅費等
資料整備費	30,000	0	30,000	0	校舎写真・額装代
事務費	1,270,000	△ 80,000	1,190,000	975,448	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,100,000	0	1,100,000	1,100,000	山東教育後援会へ
積立金	0	150,000	150,000	0	同窓会基金へ
振込料金	360,000	27,000	387,000	384,402	ゆうちょ銀行、コンビニ
予備費	67,691	315,291	382,982	0	
合計	8,107,691	149,610	8,257,301	6,179,548	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

令和2年度 予算(案)

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
維持会費	6,600,000	6,600,000	0	
入会金	1,175,000	1,185,000	△ 10,000	5,000円×235人
積立金より	0	0	0	
繰越金	380,000	322,291	57,709	
雑収入	400	400	0	
合計	8,155,400	8,107,691	47,709	

支出の部

(単位：円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
総会費	90,000	90,000	0	資料印刷、案内送付費等
会議費	500,000	500,000	0	役員会、評議員会
表彰費	400,000	470,000	△ 70,000	表彰状、記念品
会報発行費	3,070,000	3,000,000	70,000	16,800部 会報印刷、送付費
通信費	140,000	120,000	20,000	NTT、切手、葉書
慶弔費	140,000	140,000	0	慶弔電報、香典、饞別
諸手当	30,000	30,000	0	事務補助費
生徒活動支援費	300,000	300,000	0	全国大会出場激励お祝
奨励費	30,000	30,000	0	同窓会賞副賞、賞状筆耕等
活動推進費	600,000	600,000	0	支部総会お祝、若手学年支援、旅費
資料整備費	30,000	30,000	0	資料保存費等
事務費	1,250,000	1,270,000	△ 20,000	事務局運営費、一般事務費
寄付金	1,100,000	1,100,000	0	山東教育後援会へ
積立金	0	0	0	
振込料金	410,000	360,000	50,000	ゆうちょ銀行、コンビニ、振替通知書
予備費	65,400	67,691	△ 2,291	
合計	8,155,400	8,107,691	47,709	

※収入の維持会費は振込料金を含めた金額である

—維持会費の振込みは、郵便局ATMかコンビニで一括して—

振込料金の支出が、元年4月の一斉値上げに加え10月の増税により、前年より12万円ほど増加しています。実収入の減少をできるだけ抑えるために、振込みの際はぜひ、料金(同窓会が負担)が少ない郵便局のATMかコンビニをご利用下さい。

郵便局の窓口(130円→203円)・ATM(80円→152円) コンビニ(120円→165円)

ご家族など複数で振込まれる場合、「郵便局」専用振込用紙の「通信欄」にそれぞれの氏名・卒業年・金額を列記し、合計金額を一括してお振込み下さい。ゆうちょ銀行の通帳をお持ちの方は、電信振替(料金1件100円)のご利用もご検討下さい。

- 11月12日 仙台同窓会総会
- 11月16日 関西山中山東同窓会総会
- 11月23日 山中山東東海同窓会総会
栃木県支部総会
- 11月30日 寒河江支部総会
- 12月7日 山辺支部総会



松田杯等受賞者

- 12月19日 松田杯等四賞授与(学校)
- 令和2年**
- 1月18日 大石田支部総会
- 1月26日 上山山形東高同窓会親睦総会
- 2月2日 体育部OB会総会
- 2月7日 第3回役員会
令和元年度補正予算
令和2年度事業計画・予算
令和元年度まつり決算・総括
令和2年度まつり日程
- 2月8日 山形市歯科医師会山東会総会
- 2月14日 山東教育後援会へ寄付金贈呈
第2回評議員会
第3回役員会と同じ
- 2月19日 第2回山形県庁東高会総会

- 3月3日 令和元年度卒業式(学校)
同窓会特別賞授与
同窓会入会案内の配付
令和2年卒 山東70回
令明会(れいめいかい)
※新型コロナウイルス感染拡大
防止のため入会式を中止
- 3月16日 同窓会まつり引継会



教育後援会へ寄付贈呈

令和元年度同窓会まつり

槌音会 (山東32回)・東睦会 (山東54回)



校舎改築工事の槌音響く中で勉学と部活に勤しみ、山東祭のさなかに旧講堂・図書館の解体に立ち会い、完成近い新教室棟に入ることなく、新校舎での母校の一層の発展を願いながら卒業したのが、我ら山東32回槌音会であります。人情の機微を解する粋(いき)な心の堅持を標榜する山東54回東睦会(とうすいかい)の若い諸君と共に、令和最初の幹事を務めさせていただきました。

次々と先輩方や後輩諸君が受け付けされ、17時の総会開始となりました。滞りなく議事が進行し、最後に、戦後間もない昭和21年(1946)の全国中等学校優勝野球大会(現:甲子園大会)で対戦した山形中学ー現山形東高と函館中部中学ー現函館中部高の、73年ぶりの交流戦についての紹介がありました。この交流戦の実現にあたっては両校OBの御尽力があり、OBによる同窓会活動の重要性を、これまでにも増して再確認できました。

表彰式では、同窓会功労者の大場敏男先輩、母校で長年勤務された4名の先生が表彰され、喜寿を迎えられた昭和37年卒業・山東12回・東睦会の先輩方をお祝い申し上げました。東睦会評議員の井上伸一先輩が記念品を受領され、石原泰弘先輩からご挨拶をいただきました。

そしていよいよ同窓会まつりが始まりました。校歌斉唱の後、21世紀の山形東高を象徴する男子応援団長と女子チアリーダーの指揮によるエールが続きました。祝辞の中で、佐藤俊一校長先生から母校の現況ー探究科の始動や部活動の活躍についてのご説明がありました。東睦会・佐久間聡一氏の序破急の流れにのったヴァイオリン演奏は祝賀ムードを大いに高め、第39代校長相馬周一郎先生の乾杯の御発声によって、祝宴が開始されました。在学時の思い出話や近況の披露などで、会場には談笑の華が大いに咲き誇りました。そして、応援団OBの指揮による応援歌「おゝ勝利」とエール、そして東海山東同窓会会長の海野紘治先輩御発声の万歳三唱により、令和初の同窓会まつりは中締めを迎えました。

恩師と、先輩方と、同期の友と、後輩諸君と、母校の思い出と共により良き明日の創造について語り合う場として、山東同窓会まつりがこれからも一層の発展を遂げることを、願ってやみません。

(槌音会 高橋 徹 記)



令和元年度 同窓会功労者表彰

《評議員功労》 おお ば とし お 大 場 敏 男 様 (山東14回・龍雲会)

【表彰理由】

昭和48年から現在に至るまで46年の長きにわたり龍雲会の評議員として役務に精励され、同窓会事業の推進に大いに貢献されてきました。また、應援團OB会長と松田杯等表彰審議委員を務められ、女子生徒によるチアリーダーの創設など次代を見据えた部活動の振興に力を注がれました。

長年にわたる同窓会活動と母校の教育活動に対するご貢献に対し、深甚なる敬意と感謝を込めて賞が贈られました。



令和2年度

同窓会総会・表彰式・まつり

令和2年10月17日(土)
ホテルメトロポリタン山形

- ◆日程：総会/午後5時～
表彰式/午後5時30分～
まつり/午後5時50分～
◆チケット：5,000円(予定)
購入は各学年の評議員(同窓会役員欄を参照)にお申し込み下さい
◆当番幹事：継世会(山東33回)
東節会(山東55回)

新型コロナウイルス感染拡大防止等により開催内容に変更が生じた場合には同窓会ホームページ [http://www.yamatoudousoukai.com/] でお知らせします

山東12回・東睦会 喜寿記念同窓会報告



東睦会の由来 卒業仲間が「仲睦まじく」ありたいという願いがある。また、卒業担任に堤睦水先生がおられた。

担任団 1年～3年 学年主任 奥山常夫(敬称略)

Table listing members of the 1st, 2nd, and 3rd year groups, including names like 金森 武, 河田 利夫, 遠藤 来二, etc.



表彰式

喜寿記念同窓会タイムスケジュール

- 1時30分～ 山東見学 丹野学教頭先生案内 12名
3時00分～ 4時50分 喜寿記念同窓会1次会と集合写真撮影 43名
5時00分～ 7時20分 山東同窓会まつり出席
7時30分～ 9時20分 別会場移動 2次会 35名



一次会会議

思い出等のアンケート 配給の石炭が午前中で燃え尽きると、どこからか、壊れた椅子や机を調達して寒さをこらえた。中央廊下の番付表。食堂のうどん。汗のしみこんだ剣道着。学年対抗リレー。部室の汗のにおい。水泳の高飛び込み。汽車通。クラブ活動の厳しさ。図書館。親友。担任。インター杯出場。初恋。部活。

同窓会の皆様へ 同窓会まつりに招待、表彰さらに記念品まで頂き有難うございました。令和元年記念の年に喜寿記念同窓会を開催できましたこと感謝申し上げます。(坂部 忠彦 記)



喜寿記念写真

おもな大学の合格状況

令明会 (令和2年3月卒業)

今回が最後のセンター試験で来年度から共通テストへと変わる。来年度からの大学入学者選抜は大きく変わると見られていたが、大学入試英語成績提供システムの導入見送り、共通テスト記述式問題の導入見送り等受験生が振り回される形となった。今年度のセンター試験では、話し合いの場面を想定した問題、思考力を問われる問題等、共通テストに向けた新傾向の問題も各教科・科目で見られた。

センター試験の全国的な平均点をみると、難関大合格の目安となる得点率8割を超える成績層が文系型、理系型ともに昨年度よりも減少した。数学・英語で前年度よりも平均点が下がったためであると考えられる。個別大学への出願も、次年度より共通テストに変わるといことで、早くか

ら「現役志向・安全志向」の傾向が見られたが、センター試験の難化によりその傾向はますます強くなったようである。

本校の合否状況の概況は次の通りである。東大は現役合格4名、過年度卒合格6名であった。現役では文科一類の合格者が3名で、文科三類が1名。昨年に引き続き理科類の合格者はなかった。理科類は難化傾向にあるが、合格者を増やすことが課題。東北大については現役23名、過年度卒9名。今年度はAOⅡ・Ⅲ入試合わせての合格者が現役で7名であった。関東からの合格者が増えており、前期日程の合格者数は宮城に続き、東京、埼玉、神奈川の順となっている。山大医学科については、現役で一般推薦(センター試験必要)5名、前期一般(山形県定着枠)3名、後期1名、計9名の合格で、過去15年間で見て最も多い。過年度卒の合格は7名であった。東北大医学科の合格者は現役・過年度卒あわせて3名。主な大学の合格者(現役・過年度卒)は北大5・筑波大7・一橋大2・千葉大6・新潟大20・金沢大1などである。

令和元年度(令明会) 大学合格者数(延人数) 単位:人 ※現役合格のみ

【国立大学】

大 学	人 数
北 海 道	3
北海道教育	1
弘 前	2
岩 手	1
東 北	文 6
	教 1
	法 0
	経 7
	理 1
	医 2
	保 1
	歯 0
	薬 0
	工 3
	農 2
全 23	
宮 城 教 育	3

大 学	人 数
山 形 医 全	9
34	
福 島	2
茨 城	2
筑 波	3
宇 都 宮	1
埼 玉	2
千 葉	3
電 気 通 信	2
東 京	文 4
	理 0
計	4
東京外国語	1
東京学芸	1
東京藝術	1
東京農工	1
一 橋	1

大 学	人 数
横 浜 国 立	3
新 潟 潟	18
静 岡	1

【公立大学】

大 学	人 数
岩 手 県 立	1
秋 田 県 立	1
山形県立保健医療	2
高 崎 経 済	1
東 京 都 立	1
静 岡 県 立	1
神 戸 市 外 国 語	1

【私立大学】

大 学	人 数
岩 手 医 科	2
東 北 学 院	16
東 北 福 祉	3
東 北 医 薬	6
東 北 芸 工 大	9
獨 協 医 科	1
青 山 学 院	4
慶 應 義 塾	4
上 智	1
中 央	6
津 田 塾	2
東 京 理 科	5
法 政	5
明 治	9
立 教	3
早 稲 田	10
立 命 館	1
そ の 他	41

【計】

大 学	人 数
国 立 大 学	113
公 立 大 学	8
私 立 大 学	128
(国公立医学科)	11
(私立医学科)	3
合 計	249



全大学の合格者数は山形東高のホームページ (<http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp>) の「進路指導」に掲載しておりますのでご覧ください。

体育・文化活動総況

本校の部活動も時代の大きな流れにより、平成31年4月から体育部活動基本方針を、令和2年1月に文化部活動基本方針を県教育委員会の指導により策定しました。内容は、①部活動を通して、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育み、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、バランスのとれた心身の成長と学校生活を送ることができるようにする。②生徒の自主的、自発的な参加により行われ、学校教育の一環として教育課程との関連を図り、合理的かつ効率的・効果的に取り組む。③部活動における指導内容の充実、生徒の安全の確保及び教員の長時間勤務の解消の観点に留意し、学校全体として適切な部活動の指導・運営に係る体制を構築する。というものです。

具体的には、休養日を週当たり、平日1日以上、かつ、土曜日及び日曜日(以下「週休日」という)1日以上の休養日をとる。活動時間は、準備や片付け時間を除いて平日2時間程度、週休日等3時間程度とする。また、目標とする大会前の強化期間については、大会等の原則3週間前からとし、休養日は、少なくとも週1日の休養日を設けたうえで、もう一日の休養日を振替え、年間計画に示す。その際、定期考査前後や長期休業中等に振替えることもできるものとする。活動時間は、準備や片付け時間を除いて平日3時間程度週休日等4時間程度とする。ただし、活動時間については、体育部は、大会・練習試合・合宿・遠征等は、文化部は大会・コンクール・コンテスト・発表会等は除くものになりました。新たに策定された基本方針を基礎に今年度も体育部・文化部とも活躍目覚ましく、今後もさらに期待することができるものになっています。

令和元年度 松田杯等四賞

《松田杯》フェンシング部

令和元年度の主な成績 (以下同じ)

- 県高校総体 男子学校対抗 優勝
東北高校総体 男子学校対抗 出場
全国高校総体 男子学校対抗 ベスト16

《鈴木杯》新野まどか (フェンシング部)

- 県高校総体 女子個人対抗 サーブル 優勝
フルール 第2位
東北高校選手権 女子個人対抗 サーブル 出場
フルール 出場
全国高校総体 女子個人対抗 サーブル ベスト16
フルール 出場

《鈴木杯》齊藤 丈 (フェンシング部)

- 県高校総体 男子個人対抗 サーブル 優勝
男子団体 優勝
東北高校選手権 男子個人対抗 サーブル 第6位
全国高校総体 男子個人対抗 サーブル ベスト16

《矢野牌》放送部

- 第49回山形県放送コンテスト兼第66回NHK杯全国高校放送コンテスト予選会
創作テレビドラマ部門「高橋君は伝えたい」 第1位
創作ラジオドラマ部門「ブラック活動改善委員会」 第1位
ラジオドキュメント部門「山形からの架け橋」 第2位
上記3作品は第66回NHK杯全国高校放送コンテスト出品

《駒草杯》村上 亮羽 (演劇部・文芸部)

- 全国高等学校総合文化祭佐賀大会 文芸 短歌部門参加 互選賞 二席
山形県高校文芸コンクール 短歌部門 優秀
第34回全国高等学校文芸コンクール 短歌部門 最優秀 (文部科学大臣賞)

※受賞者の写真は3Pに掲載

同窓会特別賞

- 《中村賞》 秋葉 秀英
《木村賞》 村上 亮羽
《探究賞》 酒巻 翔大
《山形東高同窓会賞》 長澤パティ明寿
《山形中学校東高東京同窓会賞》 早坂 拓能
《山形東高等学校仙台同窓会賞》 川合 鷹勢

体育部

令和元年度の各部の主な成績をご報告申し上げます。今後とも同窓会の皆様のご支援をお願い致します。

全国大会

- 全国高校総体(インターハイ)
フェンシング 男子団体 ベスト16
男子個人サーブル 齊藤 丈 ベスト16
女子個人サーブル 新野まどか ベスト16
女子個人フルール 新野まどか
テニス 女子シングルス 奥山えりか
弓道 女子個人 鈴木ひかり

■国民体育大会

- テニス 少年女子 奥山えりか
新体操 女子団体総合 向江 楓(山形県)
競泳 少年女子B100m背泳ぎ 小野 真愛
少年女子B400mメドレーリレー 小野 真愛

■全日本フェンシング選手権大会

- フェンシング 男子サーブル 成澤 琉希

■世界ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会兼JOCカップ・フェンシング競技

- ジュニア 男子サーブル 成澤 琉希
女子サーブル 谷澤 慶香 清野 琴弓
カデ 男子エペ 伊藤 昌太
女子フルール 谷澤 慶香
女子エペ 橋本 和花
女子サーブル 谷澤 慶香

東北大会

- 東北高校選手権大会
フェンシング 男子サーブル 齊藤 丈 第6位
男子サーブル 早坂 拓能
男子フルール 國井 亮都

水泳

- 男子100m平泳ぎ 高橋 奏翔
男子100m・200mバタ 阿曾 晴希
男子200m個人M 川部 凌
男子4×100mMR
男子4×100mR
男子4×200mR
女子100m・200m背泳ぎ 小野 真愛
女子50m自由形 菅野 伊吹
女子4×100mR

テニス

- 男子団体 田村 翔
男子シングルス 田村 翔・鈴木 将斗
男子ダブルス
女子団体 佐藤和歌葉
女子シングルス 奥山えりか・佐藤和歌葉
女子ダブルス 橋本 葵・足垣 夏菜
女子ダブルス 石本 早紀
女子走幅跳/女子三段跳 川井 楓
女子400mH 向江 楓
女子個人 向江 楓
女子種目別ボール 向江 楓
女子種目別クラブ

■東北高校新人大会

- 水泳競技大会 女子200m背泳ぎ 小野 真愛 第3位
女子ハンドボール
卓球 男子団体

■東北高等学校体操競技・新体操選抜大会

- 新体操 女子個人総合 向江 楓 第5位
女子クラブ 向江 楓 第2位

文化部

■全国大会

- ・全国高校総合文化祭 アナウンス部門 峯田 あみ
将棋部門 松本 咲重
短歌部門 村上 亮羽
器楽管弦楽部門 マンドリン部

・NHK杯全国高校放送コンテスト

- アナウンス部門 入賞 田村 真鈴
峯田 あみ
創作テレビドラマ部門 山形東高校「高橋君は伝えたい」
創作ラジオドラマ部門 山形東高校「ブラック活動改善委員会」
ラジオドキュメント部門 山形東高校「山形からの架け橋」

・全国高等学校文芸コンクール

- 短歌部門 最優秀 村上 亮羽
文部科学大臣賞 菅野はるな
優良賞

- ・北朝鮮人権侵害問題啓発週間・作文コンクール2019 最優秀賞 長澤パティ明寿
優秀賞 長澤パティ明寿
・第3回全国高校教育模範国連大会 最優秀賞 長澤パティ明寿・若林 恭佑
優秀賞 本田祥太郎
・税に関する高校生の作文 逸見 虹也 (県大会1位)
・全国高校ビブリオバトル2019 土屋 太陽・鏡 サユリ (東北大会特賞)
学校賞 山形東高等学校
・高校生環境スピーチコンテスト 女子個人 松本 咲重 (東北新人1位)
・全国高等学校文化連盟将棋新人大会

・山形県高等学校総合文化祭

- アナウンス部門 高文連賞 村山 桃夏 (R2全国大会出場権)
朗読部門 高文連賞 結城 有紗 (R2全国大会出場権)

- ・山形県きもの料理コンクール 県知事賞 須藤 真由 (第33回全国大会は中止)

■東北大会

- ・東北地区高等学校将棋新人大会 男子個人 矢澤 岬 (県新人3位)
・東北地区中学・高校ディベート選手権 高校部門 第4位 山形東高校
・東北文芸大会 文芸部 詩部門

・東北高等学校放送コンテスト新人大会

- アナウンス部門 奨励賞 村山 桃夏
垂石ひなた
朗読部門 優良賞 結城 有紗
丹野 靖大 渡邊菜々子
テレビキャンペーン部門 奨励賞 山形東高校「雑巾×僕ら」
山形東高校「もう一度…」
山形東高校「輝きの音」

・牛乳・乳製品料理コンクール東北大会

- 優良賞 須藤 真由
優良賞 伊藤 碧子
ポスター賞 木島 悠理

・2019年度化学系学協会東北大会

- 優秀賞 木島 悠理・新聞隆太郎・出沼 太陽
ポスター特別賞 細野 哲平・榎 祥彦

※紙面の都合上、東北大会以上の成績を掲載しています。

部活動成績の詳細は、山形東高校のホームページ(http://www.yamagatahigashi-h.ed.jp)の「山東通信」に掲載しておりますのでご覧ください。

創立135周年記念式典記念公演 吉宮 由真 氏

人生100年時代の キャリア作り



講師プロフィール

1958年	村山市橋岡生まれ
1978年	山形東高卒業
1983年	上智大学経済学部卒業 味の素㈱入社
2011年	インドネシア味の素社長
2013年	執行役員 グローバル人事部長
2017年	常務執行役員 グローバルコーポレート副本部長 (兼) コーポレートサポート副本部長
2019年	株式会社味の素コミュニケーションズ 代表取締役(現職)

★VUCAの時代 今日のテーマは、人生100年時代のキャリア作りです。企業は発展のために、人材を発掘し、育成し、人材に投資します。企業の人材育成には、キャリアを作ってゆく上で様々なヒントが隠されています。

VUCAという言葉があります。Volatility (変動) Uncertainty (不確実) Complexity (複雑) Ambiguity (曖昧) 英語の頭文字を繋げてVUCA (ブカ) と言います。この不確実で先が見えない中で、人生100年時代をどう生きるのか。ロンドンのビジネススクールのリンダグラットン教授が、著書『ライフシフト』でその方向性を示しました。「変化を突き付けられ驚くのではなく、変化を予期して行動しなさい」と。10年に一度の名著と言われる『ライフシフト』の1番のポイントです。

★「うま味」の発見と味の素の志 1908年。きっかけは、湯豆腐の昆布だしでした。池田菊苗博士は4つの基本味である甘味、塩味、酸味、苦味とは違う、もう一つの味があることを確信し、昆布だしの味成分がグルタミン酸というアミノ酸の一種であることを発見しました。更にこの味を「うま味」と命名し、グルタミン酸を原料としたうま味調味料の製造方法を発明しました。日本の十大発明の一つと言われています。また、池田博士はドイツへ留学した際、当時のドイツ人の体格と栄養状態のよさに驚き、「日本人の栄養状態を改善したい」と強く願うようになりました。その願いを共有した二代・鈴木三郎助が事業化。世界初のうま味調味料『味の素®』は発売されました。ここに、味の素グループの「おいしく食べて健康づくり」という志があります。2000年にはマイアミ大学により舌にグルタミン酸のレセプター(受容体)があることが発見され、その後胃にもグルタミン酸のレセプターがあることを発見されました。グルタミン酸は、おいしさに関わるだけでなく、栄養・生理学的にも重要であることが示されました。

★味の素グループが大事にする共通価値 現在130の国と地域、35の国と地域で、事業展開しています。社員は35,000人、うち12,000人が日本人です。2017年度の売上高が、11,500億円。世界の60%以上のアミノ酸を生産し、売上げの6割が海外です。調味料事業に従事する社員が、アミノサイエンス分野で医薬、先端バイオに従事している社員もいます。国籍、人種、宗教、文化も多様な人たちが働いている会社です。

‘Eat Well, Live Well’「地球的な視野に立って食と健康、そして明日のより良い生活に貢献する」。仕事をする上で大事にしたい価値、我々はどうありたいのかを、全社員で共有しています。日本の企業には、社会が良くて、お客様が良くて、そして自分たちも良いという「三方良し」を大事にするという考え方があります。社会とのかかわりのないビジネスは成り立ちません。社会の課題解決を図る中で、どのように経済的な価値を得ていくのか。社会が先、経済が後です。

★社会課題との関わりの中での目標設定 2017年、地球の人口は76億人。2030年には86億人。2050年には110億人を超えるというレポートがあります。110億人を超える人達が住んでいくためには、地球が2個必要です。このような未来を考える時、我々の事業活動はどうあるべきか。健康な心と体、食資源、地球持続性のために、我々の強みをどう活かしてゆか、全ての部門の目標はこのテーマと紐づきます。

★勝ち飯プロジェクトを通じた栄養課題への貢献 私たちは、トップアスリートに、世界で勝つための栄養プログラム「勝ち飯®」メニューの提供を行っています。試合や練習に向けたエネルギー補給のため、選手に提供するメニューにはエネルギー(糖質)をしっかりとりとることができる献立を用意します。試合開始時間から逆算して、必要な食事をとるタイミングと献立を考え、試合の期間中は、脂質の量は最低限に抑えるようにし、食材の部位や調理法を工夫します。

フィギュアスケート・羽生選手は、試合期間中の食事が少ないため、体重減少が大きく、期間後半の演技へマイナスの影響が大きい状況にありましたが、「勝ち飯®」サポートによる生活リズムや食事の改善により『強く元気な身体』で試合期間戦い抜けるようになりました。

★ベトナム栄養改善プロジェクト ベトナムの小学生には都市部の肥満、農村部の栄養不足と、地域によって性質の違う栄養問題が存在しています。ベトナム農業省からの依頼を受け、味の素の研究所とベトナムの国立栄養研究所共同で、国民の栄養に関する共同研究を実施しました。結果明らかになったことは、ベトナムの人達の栄養に対する知識や問題意識が不十分なこと。解決するには栄養や衛生管理に関する正しい知識を持った人材の育成が必要です。課題解決のため、栄養関連制度創設プロジェクトが立ち上がりました。2017年にベトナムで初めての栄養士がハノイ医科大学から誕生しました。加えて、学校給食の課題を解決するために、地域に

ある食材をパソコンにインプットするだけで栄養のバランスが取れた昼食メニューを予算内で提示するソフトを作りました。昼食前には3分間、「食事」の勉強をし、栄養のバランスを摂ることの大事さを小学生に楽しく学んでもらいます。

ベトナムの将来を支える子ども達の栄養改善に関わる取り組みは高く評価され、我々の売り上げも増えました。商品のシェア獲得率70%、それ以上に、味の素への信用を得て、ブランドの価値が上昇しました。この成果は、社員の働き甲斐、モチベーションの向上につながります。信用で裏付けられたプラットフォームが出来あがれば、そのあとの営業活動は展開がしやすくなります。

★心の知能指数 会社は社員の人材育成を考えるときに、その人の持っている潜在的な能力、成果を生み出す力を重視しています。社会で成功し、キャリアを育成してゆく上で大事な「こころの知能指数」は

「自己認識」 自分はどのような時に人を恨んだり、どのような時に悲しいと思い、または人を助けたいと思うのか。自分の感情をよく知ること。

「セルフコントロール」 自分の感情が爆発しそうになった時に、抑制できること。反対意見の人と落ち着いて議論できたり、パニックになる前に気づき、その状況から避難できることも含みます。

「意欲」 お金や地位という報酬に対してではなく、新しいこと、生産的なことを行うことに対する満足感、好奇心が湧いてくることです。皆さんご自身が自分でこうなりたいと考えたとき、ワクワクする気持ちが持てるかどうかが大事です。

「共感」 他人の気持ちを汲み取ることができない人と一緒に仕事することを誰も望みません。共感性を高くもってもらえるかどうか、チームで仕事をする時に大きく影響します。

「社会的能力」 共感性が高いことに加え、自分と他人のニーズを調整できる能力。他人との合意点や着地点を見つけたり、相手に説得力を持った話が出来るか。

教育学研究の第一人者クランボルツ教授は、自分の人生の主人公であるためのキャリア作りを、5つの視点から説明します。

好奇心 平日頃から新しい学習の機会を模索し続けること、

持続性 失敗に屈せず、努力し続けること

柔軟性 自分の考え方だけに固執せず、こだわりを捨て、信念、概念、態度、行動を変えること

実現性 必ず実現する。可能になるとポジティブに考えること

冒険心 結果どうなるかわからないが、リスクを取って行動すること

新しいことを始める時には、未知の部分が多いため、リスクが生じやすい面もありますが、私は、敢えてリスクを取ることを自分に課すときがあります。未知への挑戦には失敗がつきものです。しかし、失敗したら、やめるか、変えればいいだけ。そこで得た経験は、プラスになったと考えるようにしています。

★2030年の皆さんへ 2030年、皆さんが20代半ばになったころ。「情報伝達技術 ICT (Information and Communication Technology)」の発展により、IoT「Internet of Things」モノが相互に通信し、遠隔からも認識や計測、制御などが可能になります。ICTの急速な広がりが、世界を大きく変えてゆきます。人生100年時代のキャリア作りについて、私なりにまとめます。

- 将来に適応できる能力を身に着的ために、学習し続ける自分であること
- 社会との関わりの中で、自分のキャリアを考え、こうありたい自分、ビジョンを練ること
- 失敗はすべて自分の財産であること

- 自分の人生をマネジメントするために、ものごとの本質、原理原則を学ぶこと
- 成長しながら、自分のキャリアという財産(資産)を増やしてゆくこと

適応できる能力を蓄え、将来のビジョンを練ること、失敗は皆さんの引き出しを増やします。原理原則を学ぶこと。右か左かという2択のシンプルな判断ではなく、人生には右と左の間地点、グレーゾーンが幅広く設定されています。自分は何をやるのか、何をすべきか判断していく時に、判断する軸がとても大事です。

キャリアは、働くことに関わる「生き方」そのものを指していることを考えれば、キャリアを積むということは、仕事の経験を積み重ねるだけではなく、仕事に関わるプロセスの中で、技術、知識、経験に加えて、人間性を磨いてゆくこと、プライベートも含めた自分自身の生き方を磨いてゆくことです。

大切なものは見えないとお伝えしました。山形東高校で皆さんは今、キャリアという目に見えない資産を増やしているところですが、これからの時代は、ひとり一人の個性と多様性が奨励され、多様な働き方と生き方を選べるようになります。この大切な3年間を有意義に過ごし、ご自身の人生100年時代の果実を生みだして行ってください。みなさんに負けないように私も、自分の人生をマネジメントしてゆきます。これからの成長と活躍に大いに期待しています。

第65回体育部OB会総会

第65回山形東高体育部OB会総会並びに懇親会は、2月2日、山形グランドホテルで330名の参加のもと開催されました。今回の当番幹事は野球部と柔道部。両部あわせて100名の参加でOB会を盛り上げました。

総会(司会は柔道部OB横沢正昭さん)ではバスケット部OBの細谷壽守さんから、現役体育部の強化について、予算を増加し、一流の指導者を招くべきでないか、との貴重な提言がなされました。

懇親会(司会は野球部OB神尾法子さん、峯田和宜さん)は、新型コロナウイルス感染拡大に伴いその開催が懸念されておりますが、オリンピックの話題で沸き立ちました。東京同窓会会長の金井浩一郎(サッカー部OB)さんから、バスケット部OBオリンピックの東海林周太郎さんを記念したTシャツを作り、東京同窓会70周年寄付金付きで販売することが紹介されました。



また6月7日、8日に山形県内で行われる聖火リレーに参加する方が2名おりました。柔道部OBの長岡迪生さんとテニス部OBの梅津陽一郎さんで、会場は大いにヒートアップしました。

そして、最後は柔道部OBで東京五輪・パラリンピック組織委員会副会長元五輪相遠藤利明さんの音頭で万歳三唱して、賑やかな宴は幕を閉じました。

(柔道部OB 井上 幸弘 記)

体育部OB会功労賞受賞者 (敬称略)

水泳	今泉 吉郎(山東21回)		佐藤 秀和(山東19回)	弓道	野川 英治(山東21回)		佐藤 信敬(在職6年)
バスケットボール	梶原 賢(山東18回)	野球	田瀬修一朗(山東24回)	フェンシング	長谷川知也(山東22回)	学校関係者	布施 千ヨ(在職13年)
サッカー	菅井 博文(山東28回)		鞠子 永希(山東24回)	応援団	古瀬 一幸(山東33回)		鈴木 誠(在職16年)
	渡辺 憲雄(山東28回)	山岳	吉川 佳和(山東22回)				

第27回山東文化部OB会総会



令和元年7月19日(金)、山形グランドホテルに於いて「第27回山東文化部OB会総会」が、高橋一夫同窓会長はじめ多くの来賓のご臨席のもと多数の会員が集い盛大に開催されました。総会においては、吉田眞一郎会長が議長となり、前年度の事業及び決算報告、そして本年度の事業計画と予算が審議され、可決承認されました。また役員改選につきましては、全員留任となり次期改選までに新体制に移行する事となりました。

総会后、東音会合唱団のミニコンサートが開催されました。記念講演では、17回卒・六七会、富澤学園理事長の結城章夫氏から講演頂きました。演題は「日本の教育について思うこと」戦後教育の流れと教育基本法の全面改正にもなう新たな教育目標についてのご講演でした。

その後、懇親会に移り同窓会長、学校長の挨拶、体育部OB会会長の乾杯で会員同士が和気藹々の懇親を深めました。当番幹事でありました音楽部・吹奏楽部・マンドリン部の会員の皆様ありがとうございました。今年・第28回総会は7月3日(金)ホテルメトロポリタン山形、当番部は美術部・写真部・園芸部になります。「山形の日本酒について語る」をテーマにした大変ユニークな企画です。多数のOB会員の出席を期待しております(幹事長 武田 信博 記)



知音ふあいる

若手会員のプロフィール紹介

武井 悠人(平成19年卒業・和成会)

深宇宙で「おゝ勝利」

私は現在、日本の宇宙開発、中でも月以遠を対象とする「深宇宙探査」というフィールドで仕事をしています。

アストロダイナミクス(宇宙機の軌道や姿勢に関する力学と制御)を専門とする技術者・研究者として、宇宙航空研究開発機構(JAXA・ジャクサ)はやぶさ2プロジェクトチームに所属し、システム担当というプロジェクト全体を推進する役割を担っています。個性的な科学者・技術者・メーカーを繋ぐ橋渡し役としてコミュニケーション能力、専門知識、そして粘り強さが求められます。いわば「船頭や舵取り」の側面も持つ「宴会の幹事(裏方)」といったところでしょうか。私にとってこれらの基礎は、山東柔道部の先輩後輩(そしてお隣、山工柔道部の猛者)たちと全国目指して切磋琢磨しつつ、強烈な個性が集い育まれる山東の環境で過ごした3年間で鍛えられました。同級生達の現在を見渡しても本当に幅が広く、「10年後に面白い話をしよう」と言い合える仲間恵まれたことが私の大きな原動力です。また、自分としては山東同窓生にとって未踏の分野を開拓していたつもりが、日本電気株式会社(NEC)を昨年定年退職された小笠原先輩(昭和48年卒)や山形大学工学部教授の峯田先輩(昭和55年卒)という大先輩方とはやぶさ2で一緒にいたことが分かり、山東の裾の広さと縁の有難さを感じています。

探査機「はやぶさ2」が成し遂げた数々の世界初の裏には、他国が尻込みするアクロバティックなミッションに込められた前人未到を目指す魂と、困難の前にONE TEAMで解を探求する日本人としての誇りがあります。これらはいずれも山東で育まれている心だと思います。民間企業の参入も相次ぎ、太陽系大航海時代の幕が開いていると言っても過言ではありません。ぜひコラボさせて頂き、深宇宙を舞台に「おゝ勝利」を歌いましょう!



各同窓会だより

(順不同)

◇山形市役所東高会

山形市役所東高会は会員総勢146名が一丸となり、市勢発展のため、日々奮闘しております。

さて、当会では会員相互の親睦を図るため、毎年、総会と新年会を開催することとしております。昨年5月30日に開催した総会では、佐藤校長先生、高橋同窓会長、渡邊同窓会事務局長から御臨席を賜り、母校の活躍や同窓会の近況を伺いながら、時間の経つのも忘れ大いに盛り上がりました。また、今年1月28日に開催した新年会では、今年度をもって退職される会員の方を囲み、思い出話に花を咲かせました。これらを通じて会員同志の絆をさらに深めたところであります。

(庶務幹事 鈴木 洋祐 記)



◇山辺支部



令和最初の山辺支部の総会及び懇親会を恒例となっている12月の第1土曜の7日に町内の「寿司政」において、高橋一夫同窓会会長及び佐藤俊一校長を来賓に迎え会員20名の参加のもとで開催しました。山辺支部の会員は全員で81名となっていますが高齢化や諸般の事情で参加できない方が多く、20名の参加となりました。また物故者が3名おり、開会に先立ち黙祷を行いました。議案として役員の改選がありましたが、結果として伊東支部長(会長)をはじめ副会長、幹事長(事務局長)、会計は再任という形になりました。高橋同窓会会長には仕事以外の面でユニークな活動をなされているということで懇親会の席が大いに盛り上がりました。締めめに校歌を歌い元気で1年後の再会を確認してお開きとなりました。

(幹事長 宗田 一彦 記)

◇山形市歯科医師会山東会

令和2年2月8日(土)山形市歯科医師会山東会総会・新年会が「川なり」で開催された。西村修会長の挨拶の中で同窓会まつりの報告がなされ、会員の若干の動向の説明がなされた。その後早速、福田顧問の乾杯で宴会に入り、美味しい料理を飲み放題のお酒とともに堪能した。参加者は11名と気の置けない集まりとなり、高校時代や山東同窓に関する話題はもちろん、社会保険改定や歯科医師国家試験の受験者の動向に憂えたり、新型コロナウイルス関連の情報を交わしたり、熱燗のお酌はもう手酌で話題は多彩に盛り上がり懇親を深めた。その後は多くの有志が二次会へと繰り出し、夜が更けるまで飲み明かした。

(副幹事長 清水 一衛 記)



◇東根支部

東根支部令和元年度総会は、令和元年11月7日(木)に東根温泉「青松館」において、同窓会本部の高橋勝幸幹事長、母校の丹野学教頭先生をお迎えし、会員33名の参加を得て開催いたしました。総会では、決算及び予算案が承認され、二年任期の役員改選では一部役員の変更がありました。引き続きの懇親会では、来賓あいさつとして高橋幹事長からは、

本部長が交代されたことなどを含めご挨拶をいただき、丹野教頭先生からは、学校の近況などについてご報告をいただきました。続いて、支部顧問の土田正剛東根市長からは、学生時代の話や東根市政の現況など伺うことができました。その後、校歌を斉唱、懇親を深めた後、応援歌「おゝ勝利」を歌い、学生時代を懐かしみました。次回も多くの方の参加をお願いいたします。

(幹事長 浅野日 勇 記)

◇栃木支部



栃木支部は栃木県及び茨城県北部の方を会員としております。名簿上は約50名の会員数です。今年度は11月23日(祝)に総会を実施しました。総会は塩野会長(一高2回)、矢吹副会長(東高6回)、鏡副会長(東高10回)、佐々木会計監査(東高15回)、武田事務局(東高17回)が出席しました。佐藤会計(東高17回)が茨城県鹿島市へ引越すことになり、武田が会計を兼務することを決めました。懇親会場は前年までの駅前のホテル内料亭から趣をかえて、大通り沿い県庁の近く地下にある「いざかやはる」に場所を移し、貸し切り状態の昼の居酒屋で矢吹副会長より寄贈いただいた山形の幻の銘酒十四代を今年もおいしくいただきながら、楽しいひと時を過ごしました。次年度も秋に総会を実施する事を目指して半年後に幹事会を開催し、総会の日程を決めていきたいと思っています。次回はもっと多くの方々に出席していただけるように希望しています。

(事務局長 武田 康夫 記)

◇米沢支部

米沢支部総会が7月10日夜、東京第一ホテル米沢にて開催され、高橋一夫同窓会長、佐藤俊一校長を来賓としてお迎えして参加者37名



の盛会となりました。総会に先立つ恒例の講演会では、平成19年卒川合真澄氏(九里学園高等学校教諭)から、青年海外協力隊で訪れたモロッコでの2年間の活動や生活、様々な出会いなどをお話いただきました。また、同窓会長より就任ご挨拶と、校長より母校の探求型学習等の活動なども紹介もいただきました。懇親会では、昭34卒業の佐藤忠宏先輩の音頭で乾杯し、伊藤和夫元山形東校長から近況や同窓生の活躍を拝聴し、また、恒例の全会員による近況スピーチを交え、楽しく有意義なひと時をご一緒に過ごすことができました。

(支部長 小関 清夫 記)

◇天童支部

本支部はまず年度当初に行われる恒例の『天童支部 新入学生を励ます会』で幕が開く。新入学生を囲み会員との昼食会というスタイルをとるが、お互いの紹介にとどまらず新入学生からの抱負や会員からの質問で盛り上がる。主な進路は医学系が多く、また探究課の学習にも話題が集まった。さらに今年度は休止になっている総会の準備段階として、7月12日(金)「天童ホテル」にて『懇談会』の開催にこぎつけることができた。来賓に高橋一夫同窓会長、佐藤俊一校長先生にご参列いただき、これまでになく幅広い世代から参加を得、一人一人が紹介をかねてスピーチを行うなど和気あいあいとした雰囲気の中、校歌の大合唱で幕を閉じることができた。

(支部長 相澤 一彦 記)

◇関西山中・山東同窓会

令和元年11月16日(土)雲一つない快晴の中、ご来賓として同窓会本部の高橋会長、母校の佐藤校長先生、山形県大阪事務所の黒田所長をお迎えし、同窓生12名とともに「ホテルグランヴィア大阪」において総会・懇親会を開催しました。今年の総会は昨年参加者のうち8名が欠席になりましたが初参加3名、再参加3名、二次会参加が2名で結果的にほぼ昨年と同規模になりました。初参加では矢尾板芳郎氏(S47卒)が広島から駆けつけアカデミックな研究活動なども紹介、今野令二氏(S48卒)は母校フェンシング部のOBとして後輩の活躍ぶりに驚き、伊藤賢二郎氏(H4卒)は当時クラス担任であった佐藤校長先生と久々の再会。山形の地酒やワインを堪能しながら全員で近況を語り合い、次回2020年11月14日(土)の再会を誓いながら盛会のうちにお開きとなりました。(幹事長 杉沼 寛善 記)



長(山東12回)を議長に、会務報告、会計報告、役員改選と滞りなく議事が進み、新役員として大山会長が顧問に、菅野氏(山東19回)が会長に、田苗氏(山東24回)が幹事長に、山田氏(山東29回)が事務局長に就任されました。引き続き開催された懇親会では、お酒を酌み交わしながら高校時代の思い出話で盛り上がりました。その後、恒例となった出席者全員参加のじゃんけん大会は、例年以上の大熱戦に。最年少参加者からのひと言も間に挟みつつ、最後は校歌を斉唱し、盛会のうちにお開きとなりました。(安達 陽平 記)

◇山形県庁東高会

山形県庁東高会は、会員数294名で運営され、会員相互の親睦を図るとともに、母校への支援活動を行っております。

毎年、二回の定期総会を開催しており、令和元年度は、6月13日(木)「メトロポリタン山形」において第一回総会、2月19日(水)「ホテルキャッスル」において第二回総会を開催いたしました。総会は、校歌斉唱にはじまり、ご来賓の方々からご祝辞をいただき、また、母校への支援活動の一環として部活動奨励費等を松田義彦会長から贈呈させていただきました。引き続き懇親に入り、酒肴を囲んで懇談し、旧交をあたためたところです。最後に「おゝ勝利」を謳い上げ、万歳三唱を行い、散会いたしました。(古澤 和明 記)

◇山中・山東東海同窓会

11月23日(祝)ホテルキャッスルプラザにおいて、年一度の集まりである総会・懇親会が開催されました。四度の役員会を開き準備を進める中、開催間近になりいつになく多くの会員が参加しそうだとの報告に、役員一同期待に胸を膨らませ当日を迎えました。本部から高橋同窓会長、佐藤校長が来られ、地元からの二人の来賓とともに盛大に総会を迎えることができました。総会を無事終了後、来賓から本部同窓会の活動報告、母校の現状報告をいただき、さらに会員の近況報告に盛り上がりつつ懇親会を終えました。二次会にも高橋同窓会長、佐藤校長とともに今までになく多くの会員が参加し、山形の料理にお酒も進み、狭い飲み屋からはみ出すような雰囲気を楽しみひと時を過ごしました。(海野 紘治 記)

◇村山市役所山東会

村山市役所山東会(会員数18名)は、総会・懇親会を10月18日、榎岡麻屋で開催しました。本会は、約30年前に5人ほどの同窓生が集まってスタートし、その後、徐々に会員数も増え現在は約20名に達しております。

年に1回の会ではありますが、校歌で始まり、エール、「おゝ勝利」で締めるスタイルをとっており、同窓ならではの高校時代の思い出はじめ近況などについて酒肴を囲み語りあえる同窓交流の場となっております。



志布隆夫市長のもと、市勢発展に向け努力していくことを誓い、また同窓の絆を確かめあえた有意義な会となりました。(幹事 井澤 豊隆 記)

◇仙台同窓会

来賓に同窓会本部の高橋会長と母校の佐藤校長先生をお迎えし、仙台同窓会総会を開催いたしました。総会では大山会

山形東高夜間部同窓会

開課程から18年、不死鳥の如く

我が母校が山形市立夜間中学校として開校式及び入学式が挙行されたのは大正15年(1926年)5月1日と記録されている。爾来平成12年(2000年)閉課程され霞城学園に移行するまで74年の間、6000人余の卒業生を送り出している。教育、行政、法曹、政治経済、芸術、そして企業経営と各界に多くの人材を輩出したのは「艱難汝を玉にす」の精神ではないだろうか。

昭和28年度の生徒定員は640名の多きに達している。然し時代の趨勢は恵まれた教育環境をつくり、入学生は減少の一端を辿るに至った。これは即ち同窓会の衰退を意味しており、事実、毎年開催される総会も近年はわずか30名前後と減少していた。

然し、令和の御代となった2019年、同窓会是不死鳥の如く蘇り、紺碧の天空に大きく羽ばたいた。

それは令和元年10月6日山形国際ホテルの総会である。上程議案はただひとつ、世代交代による若返りを目的とした役員改選だけである。東高現校長の佐藤俊一先生を来賓として総勢185名を数える近來最多の参加者を得た。「羽前の三山、虚空を凌ぐ」の校歌で始まり議案は執行部の原案どおり可決し、会長に39年卒の佐藤忠男を始め松田信道、林谷静子、新宮幸男、寒河江政好(文中敬称略)等の新進気鋭が選任された。

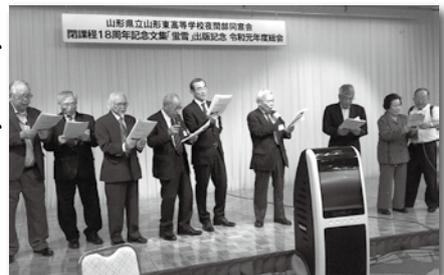
続いて文集『蛭雪』の発行記念祝賀会に入った。東京支部からは支部長の伊藤由巳、次期支部長候補の後藤勝義、『蛭雪』発行責任者の深瀬守巨、吉田良吉、滝田健司を始め20余名の参加者を得て各位の挨拶から祝舞、恩師を囲んでの歌と乱舞など大盛況を極めた。閉課程し新たな入会者がいないにも関わらず若返りには違和感を覚えるようであるが、その場の雰囲気は希望に燃え正に火を吐く意気込みである。

今回は35年卒の中山良弘が、各卒業年次の代表者の絶大な協力を得ながら、異状なまでに「貴方が来ないと同窓会が成り立たない」と懇請しながら東奔西走行脚した結果であるから、この大盛会は毎年同じように続く訳ではない。然し、ひとつの時代を大きく区切り、伝統ある夜間部同窓会に新しい息を吹き込み、次の世代へ繋ぎ渡した意義は限りなく大きい。

生ある限り、皆等しく母校に対する敬愛の念を益々篤くして同窓生の絆を強く、新執行部が取り組む同窓会に大いに期待すると共に、全身全霊をもって協力を惜しまない。

それが我々の責務だから。

(前副会長 渡邊 長一郎 記)



◇酒田山東会

令和元年度の酒田山東会総会は、母校より佐藤俊一校長先生、同窓会より高橋一夫同窓会長にご出席いただき、令和元年10月25日に開催されました。今年も鶴岡在住の卒業生に参加していただき、また若手の参加も増えて計23名の参加となり、賑やかな会となりました。総会では当会の高橋会長からご挨拶をいただき、その後、高橋同窓会長から同窓会の近況をお話しいただきました。今年度の役員は変更なく、全員が了承されました。懇親会では校歌斉唱の後に、佐藤校長先生から母校の近況をお話しいただきました。主な進学先や、運動部・文化部の活躍のほかに、探究科2学級の特色ある教育活動や、継続して取り組んでいるボランティア活動などのお話があり、後輩の活躍に興味深く聞かせていただきました。その後、三沢前会長の乾杯の音頭でにぎやかな酒宴となり、老いも若きも大いに語り合い、各自の近況報告が行われました。最後に「おゝ勝利」を歌って、エールであつという間に終了となりました。来年もまたよろしくお願いします。



(幹事長 岡田 恒弘 記)

尾花沢支部より富士盛良一支部長、星川薫事務局長、三坂真治副事務局長にご出席いただきました。冒頭で、ご逝去された元本支部長の織江祐智氏に黙祷を捧げました。総会では欠席の高橋一夫会長のあいさつを本副支部長の布川元氏が代読し、佐藤校長先生からは、本年度実現したシンガポールへの海外研修の成果など母校の近況をお話ししていただきました。その後、「新そばを食う会」と称したにぎやかな酒席となり、大いに語り合い、参加者全員の近況報告が行われまし



た。2時間30分が瞬く間に過ぎ去り、応援歌「おゝ勝利」を歌い、エール、万歳三唱を行い、母校のますますの発展と、参加者のご多幸を祈り、盛会のうちにお開きとなりました。

(横山 峰浩 記)

◇河北山東会

令和元年度の河北山東会総会は、町内の「寿司懐石しょうじ」にて10月19日に開催されました。ご来賓に同窓会本部の高橋会長と母校の佐藤校長先生をお迎えし、祝辞では母校の近況や部活動の活躍状況などをお話しいただきました。その後の懇親会では、会員の近況や高校時代の思い出に花を咲かせ、大いに盛り上がりました。最後に恒例となった「おゝ勝利」を合唱し、散会いたしました。



(事務局長 古澤 広喜 記)

◇尾花沢支部



支部総会及び懇親会を11月9日(土)市内「薬師園」にて開催しました。ご来賓に高橋一夫同窓会会長、佐藤俊一校長先生をお迎えし、また、大石田支部からも庄司喜與太支部長、高桑副支部長、大類事務局長にご出席いただきました。総勢22名参加の総会に先立ち、尾花沢市からの新入生2名の激励会を開きました。今塾副支部長、佐藤校長先生、会員の菅野真紀さんからの激励の言葉があり、記念品を贈呈しました。新入生からは、感謝とこれからの決意等の力強い言葉があり、会員一同、高校生の堂々としたスピーチに感動しました。また、尾花沢から山東に通っている高校生あるある(方言で困ったことやカメムシの呼び方等)の話で盛り上がりしました。

(三坂 真治 記)

◇寒河江支部

令和元年11月30日(土)寒河江市にあるホテルサンチェリーにて令和元年度の山形東高等学校同窓会寒河江支部の総会が行われた。総会は校歌斉唱に始まり、審議も特に問題なく終了した。講演会は本校23回卒業志他会で国立病院機構山形病院特命副院長認知症疾患医療センター長の多田敏彦先生による「他では聞けない医療の真実」という演題にて行われた。近代の地方の抱える人口減少問題などに絡めた大変有意義な講演であった。最後に多田先生お得意の替え歌を披露していただき会場はおおいに盛り上がった。その後「こころの宿一龍」に移動して懇親会を行った。来賓として高橋一夫同窓会長、佐藤俊一校長先生にご参列いただき懇親会は盛況に執り行われた。最後は小松元応援団長指揮のおゝ勝利の大合唱とエールにて閉会した。



(石川 隆 記)

◇大石田支部

恒例の本支部総会が今年度もセンター試験1日目の令和2年1月18日に行われました。時節柄、雪の多い時期ですが、今回は積雪0の晩に、総勢17名が「手打ち大石田そば きよ」に会しました。ご来賓に佐藤俊一校長先生をお迎えし、また、

第70回卒業会名

れい めい かい
令 明 会

【命名の由来】

私たちは第70回卒業生としての門出を前に、この3年間の星霜に思いを馳せている。この歴史ある学び舎で、孝廉の人たらんと願い、友と睦み、仁の心を育んだ日々を。賢能の誉れに驕ることなく、克己し直向きに学問に励んだ日々を。己の未熟さを自覚しつつも、崇高な理想を追い求めた日々を。

私たちは今、この令和という新たな時代に、自ら光を放ち、明るく世を照らす燈火^{ともしび}とならんことを決意する。

創立135年の母校を巣立つ私たちの前途を祈念し、ここに「令明会」と命名する。
孝廉…人を大切に、正直潔白であること。 仁恵…いつくしみ 賢能…賢くて才能があること。
(発案者 石嶋大嵩 板垣敦也 奥山和葉 岸拓瑠 佐藤安希子 武田梨歩 長澤パーティ明寿)



卒業式

◇上山山形東高同窓会



令和2年1月26日にあづま屋において第68回親睦同窓会を21人の参加のもと開催しました。ご来賓として、高橋同窓会会長、佐藤校長、渡辺事務局長をお迎えし、校歌斉唱の後、鈴木省三氏(東12回卒)に議長をお願いし、中村前会長の急逝による役員改選を行い、新たに佐藤紀嗣氏(東14回卒)を会長とすることとし、他の役員も原案通り承認をいただきました。総会後の親睦会では、和やかな時間を過ごしなが

ら、新規会員の参加を期待することを誓って散会となりました。

(江口 敏昭 記)

◇東京同窓会



東京同窓会は関東甲信越に居住する卒業生及び縁故者で構成され、山東母校の隆盛を念とし、会員の親睦

を図ることを目的として活動しています。今年5月初旬に会報77号を発行しました。7月27日の総会・懇親会には250余名が参加し、夏の山形の味覚を取り揃え、大いに盛り上がりました。8月には在校生の首都圏企業研修・大学訪問を支援しました。10月5日には都内水元公園で芋煮会を行い、32名が3班に分かれて独自の芋煮をつくり、味覚を楽しみました。写真はその時の集合写真です。詳しくは<http://uzen33.net>または「山形東高東京同窓会」で検索してホームページをご覧ください。

(会長 金井 浩一郎 記)

東の風

えがお大作戦

令和元年度生徒会長
長沢パティ明寿

今や山東生徒会の代名詞になりつつある「えがお大作戦」。今年で活動も8年目を迎え、これまでに合計1484個のランドセルをおさがりとしてアフガニスタン・ナンガルハル州の子供達に贈り届けて参りました。



戦乱で荒廃したアフガニスタンでは、女子の就学率と識字率の低さが起因して、5歳未満の乳幼児の14人に1人が命を落としています。また、十分な教育を受けないうままに12~13歳で結婚し、不衛生で危険な出産にさらされるため、妊産婦死亡率が世界でも高い国の一つになっています。文字を読めない妊産婦は、知識や情報を印刷物から得ることができず、出産や育児において適切なケアができない状況にあるのです。「えがお大作戦」は、「教育」という観点から、そのような現状にあるアフガニスタンの国創り、ひいては国連の定めた国際目標SDGs(持続可能な開発目標)に大きく寄与する活動であるとともに、「教育」という自分達も今まさに直接関わっている分野を通して世界の子供達とつながって、彼らと同世代の私達が、未来を共に創造していく地球志民としてサポートするという意義深い活動であると考えています。

今年度の発送式には、アフガニスタンで実際にランドセルを配布されているババカルキル氏が来校なさいました。「教育は子供達の人生を築くために必要なものだ」とのメッセージを頂くとともに、活動に関しての意見交換をさせていただきました。その中で述べられていた「このランドセルを通した結びつきが、いつか日本とアフガニスタンの子供達の相互交流につながることを夢見ている」という言葉が、深く私の心に残っています。彼らには、ランドセルを背負って学校に通い、たくさんの楽しい思い出を作って笑顔になって欲しい、そして将来の夢や目標に出会って欲しいと、強く願います。

ババカルキル氏にランドセルを託す

ランドセル1個につき2500円の輸送費がかかることから、ランドセルの回収とともに募金活動にも力を入れて参りました。例年多くの同窓生の皆様にご寄付を頂きまして、この意義深い活動を継続できております。この紙面をお借りして、感謝申し上げます。今後とも、地域・世界と積極的かつ主体的に関わる山形東高高校生徒会活動へのご支援・ご協力を賜われますよう、宜しくお願い申し上げます。

令和2年度

ホームカミングデー 「30歳になったら東高に帰ろう」



◆令和元年度ホームカミングデーに参加して
山東57回 和成会 小林 広軌

重友会(平成20年卒業・山東58回)のみなさんへ

30歳という峠に立った今 母校に帰って
恩師や仲間と楽しい再会のひと時を過ごしてみませんか
みなさんの参加をお待ちしています

- ◆ 日 時: 令和2年8月29日(土)
山東祭の一般公開日/午後3時より
- ◆ 会 場: 山東会館食堂
- ◆ 内 容: 若手学年支援費の贈呈・近況報告・懇談
- ◆ 申 込: 8月15日(土)まで同窓会事務局へ

令和元年8月30日、ホームカミングデーに参加させていただきました。昭和と平成の狭間に生まれた世代であるゆえに「和成会」と名付けられた私たちが、平成から令和に移り変わった年に再会できたことに、特別な縁を感じたところです。

当日は、かつて苦楽を共にし、県内外で活躍する同級生たちが20人以上集まったほか、大変お世話になった先生方にもお越しいただき、在学中と変わらぬ距離感で思い出話や近況報告に花を咲かせました。また、頂戴したご芳志を有効活用させていただき、同窓会館での1次会から数え、有志で5次会まで楽しませていただきました!

場を設けていただいた同窓会事務局の皆さま、先生方、誠にありがとうございました。



お梅やみ

同窓会報71号掲載以降～令和2年3月31日までに判明した方々です謹んでご冥福をお祈りいたします

平成26年

11月12日 朝岡 勝夫 様 (山東2回・元仙台同窓会長)

平成29年

4月4日 佐藤(高橋) 麗子 様(山東1回西)
9月4日 山内 啓 様 (山中60回)
12月6日 元松(齋藤) 禮三 様(山中57回)
12月9日 新関 競三 様 (山東3回)

平成30年

1月3日 長尾 賢利 様 (山東1回)
1月24日 仲野 浩 様 (山中58回)
1月31日 渡辺(吉田) 悦子 様(山東27回)
2月8日 大内 恒夫 様 (山中52回)
4月4日 安藤(渡辺) 香十枝 様(山東2回西)
4月27日 板垣 努 様 (山東21回)
5月3日 木曾(本沢) 盛亮 様(山中57回)
5月16日 鈴木(鈴木) 麗子 様(山東4回西)
6月21日 梅津 健彦 様 (山東3回)
6月22日 石山 利勝 様 (山東2回)
9月26日 黄木 信夫 様 (一高2回)
10月10日 野崎 正人 様 (山東13回)
10月23日 清野(齊藤) ミツ子 様 (山東2回西)
10月25日 加藤 征夫 様 (山東7回)
11月6日 菅 幸 様 (山東6回)

平成31年

1月5日 鈴木佐久二 様 (山東4回)
1月15日 大内 晴夫 様 (山東17回)
2月28日 日下部 山 様(山中60回)
3月25日 大浪 正成 様 (山中54回)
4月2日 大宮 亨 様 (山東3回)
4月2日 栢谷 實 様 (山東8回)
4月3日 武田 憫 様 (一高2回)
4月3日 小山田正幸 様 (山東7回)
4月14日 高橋 正 様 (山東7回)
4月15日 秋葉(穂波) エイ 様(山東2回西)
4月26日 遠藤 英昭 様 (山東13回)
4月28日 山本信一郎 様 (山東12回)

令和元年

5月3日 佐藤 義郎 様 (山中60回)
5月16日 加藤 典洋 様 (山東16回)

5月17日 渡部 盛雄 様 (山中60回)
5月17日 高橋 勇 様 (一高2回)
5月21日 織江 祐智 様 (山東7回・元大石田支部長)
5月24日 山川 義衛 様 (山中52回)
5月25日 太田 知義 様 (山中56回)
6月11日 早坂 忠博 様 (山東6回)
6月14日 新田 裕一 様 (山東17回)
6月21日 中村 芳太郎 様 (山中51回)
6月21日 木村 宰 様 (山東6回・元校長)
6月23日 大内 孝一 様 (山中61回)
6月23日 古川 知義 様 (山東10回)
6月24日 武田 幸一 様 (山東22回)
6月26日 石塚 雅一 様 (山東14回・旧職員)
7月3日 渡辺 穰治 様 (山東27回)
7月10日 門間 正 様 (山東19回)
7月11日 後藤 仁史 様 (山東30回)
7月16日 渡会 一雄 様 (山東19回・旧職員)
7月19日 宗方 敏夫 様 (一高2回)
7月19日 佐藤 俊彦 様 (山東6回)
7月23日 鈴木 暁 様 (山東5回)
8月2日 永島 純雄 様 (山東17回)
8月4日 後藤 直宏 様 (山東1回)
8月7日 会田 茂夫 様 (山東15回)
8月18日 高橋 懋 様 (山中60回)
8月25日 多田 一夫 様 (山東16回・評議員)
8月25日 鈴木喜恵子 様 (旧職員)
8月26日 輿田 博利 様 (同窓会功労賞受賞者)
8月27日 堀 守男 様 (山東3回)
8月31日 猿谷 芳郎 様 (山中54回)
9月4日 斎藤 修一 様 (山東19回)
9月11日 佐藤(三浦) 仁 様 (山東9回)
9月17日 中村 直資 様 (山東10回・上山支部長)
9月29日 井上 雄次 様 (旧職員)
10月14日 志田(佐藤) 節子 様(山東1回西)

10月22日 市村 彦也 様 (山東7回)
11月2日 後藤(佐竹) 義治 様(山東2回)
11月2日 松田 健一 様 (山東8回)
11月2日 間宮 幸雄 様 (山東21回)
11月9日 佐藤 正道 様 (山中62回・朝日支部長)
11月10日 小笠原繁信 様 (山東11回)
11月20日 西村 岑一 様 (山東2回)
11月28日 宮沢 忠衛 様 (山東9回)
11月29日 鈴木 輝夫 様 (山東4回)
12月8日 庄司 吉弥 様 (山中58回)
12月9日 石井 重雄 様 (山中56回)
12月15日 安藤 史朗 様 (山東17回)
12月24日 山口 浩 様 (山中59回)
12月27日 武田 謙一 様 (山東7回)
12月29日 内藤 恒吉 様 (山中60回)
12月30日 五十嵐航一郎 様 (山東12回)
12月30日 武田 昂 様 (山東13回)

令和2年

1月2日 半沢 三郎 様 (山東6回)
1月3日 伊藤 宣 様 (山東10回)
1月4日 東海林忠吉 様 (旧職員)
1月11日 後藤 健 様 (山東19回)
1月14日 五十嵐 暢 様 (山東8回)
1月20日 寒河江俊郎 様 (山東15回)
1月22日 渡辺 弘明 様 (山東21回)
1月30日 武田 良一 様 (山東2回)
1月30日 鈴木 岑一 様 (山東10回)
1月31日 松木 賢彌 様 (山東6回)
2月5日 那須 傳夫 様 (山中56回)
2月9日 志村 宗孝 様 (山中61回・評議員・旧職員)
2月15日 門間 光男 様 (山東8回)
2月18日 丸子(丸子) 玲子 様(山東2回西)
2月22日 押野 宏 様 (山東13回)
3月31日 佐々木洋一 様 (山東13回・旧職員)



木村 宰 様 (山東6回・元学校長)

国語科教諭として母校に12年間勤務され、平成6年、第34代校長に就任。創立110周年、山東2世紀の最初の節目にあたり、「文武両道+社会参加」を掲げ、不易の校是に加えて、豊かな感性と広い視野を持ち社会に貢献する、社会のリーダーたるべき資質を備えた山東生の育成に力を注がれた。平成11年、県教育長に就任。きめ細やかな指導をめざす教育環境づくりに、手腕を発揮された。

山東奨学会

令和元年

5月10日 第15回理事会
平成30年度事業報告、決算の承認
理事・監事候補者の選任
6月13日 第6回評議員会
平成30年度事業報告、決算の承認
理事・監事・評議員の選任

令和2年

2月14日 第16回理事会
令和元年度事業経過報告
令和元年度補正予算の承認
令和2年度事業計画、予算の承認
特定資産運用基本方針の修正について
3月17日 奨学生審査会
3月30日 奨学金贈呈式 3名に贈呈

慶 祝

令和元年

5月21日 旭日双光章
瀧山 快助 様 (山東17回)
瑞宝双光章
川部 昌平 様 (山東16回)
藍綬褒章
新羅 興正 様 (山東12回)
11月3日 旭日中綬章
清野 伸昭 様 (山東11回)
旭日小綬章
三浦 繁則 様 (山東16回)
旭日双光章
藤山 忠信 様 (山東3回)
旭日双光章
和田 潤一 様 (山東17回)
瑞宝双光章
岡田 剛 様 (山東17回)
山形県産業賞
鈴木 隆一 様 (山東23回)
12月10日 三浦記念賞
矢野 秀弥 様 (山東21回)

令和2年

1月28日 教育者文部科学大臣表彰
鈴木 一尋 様 (山東29回)

篤志寄付

令和元年

5月30日 図書購入費 10万円
探究活動支援費 10万円
山形市役所東高会
8月21日 旧校舎と行事、生徒制作ドラマ
8mmフィルム5巻
木口 隆一 様 (山東21回)
12月6日 柏倉 清助 様(山中57回) 作画F20号「古最上にて」
柏倉家ご遺族様

令和2年

1月15日 大内 晴夫 様 (山東17回) 作画F40号「赤の散歩」
大内家ご遺族様
2月14日 教育後援会へ寄付 110万円
山形東高同窓会
2月19日 教育奨励費 20万円
山形県庁東高会
(文化部・運動部奨励費10万円、図書購入費5万円、奨学会基金5万円)
3月3日 山東奨学会への寄贈10万円
東京同窓会懇親会における有志寄付
山形中学・山形東高東京同窓会

職員動向

本校に係る令和元年度末の人事異動をご報告します

〈転出者〉(敬称略)

佐藤 俊一(校長・3年) ご退職
壽賀 齊(事務部長・3年) ご退職
堀 つね(家庭・8年) ご退職
中村 辰彦(英語・2年) ご退職
長澤 義博(数学・14年) 山形南高校へ
志村 克久(国語・9年) 山形工業高校へ

〈転入者〉(敬称略)

須貝 英彦(校長) 教育庁より
竹田 良夫(事務部長) 病院事務局より
森 美千子(教頭) 山形東高校より
奥山 玲香(国語) 上山明新館高校より

大江 梯(社会) 山形北高校より
油井 航(社会) 長井高校より
木村 元昭(数学) 天童高校より
高橋 秀治(数学) 高島高校より
久世 健(数学) 寒河江高校より
槇 紀子(理科) 村山産業高校より
菊地 義人(体育) 谷地高校より
渡邊 正三(英語) 寒河江高校より
飛塚 岬(家庭) 谷地中学校より
渋谷 律(実習教諭) 南陽高校より

令和2年度 同窓会役員

Table with columns for Role (役員), Name, and Details. Includes positions like 会長, 副会長, 幹事, 監事, 顧問, and 相談役.

Table with columns for Role (評議員), Name, and Details. Lists various members and their affiliations.

Table with columns for Role (評議員), Name, and Details. Lists various members and their affiliations.

地域・職域同窓会

Large table listing regional and professional alumni associations with columns for Association Name, Chairman/Dept. Head, Address, and Contact Info.

安達峰一郎 生誕150年

安達峰一郎(1869～1934年)の名に、何を思い起こされるだろうか。現在の山辺町に生まれ、第一次世界大戦後に創設された国際連盟の理事会議長や日本代表を務めたのち、常設国際司法裁判所所長として世界的な信望を集め「世界の良心」と讃えられた偉人――。



常設国際司法裁判所所長として審理を主宰する(1931年)

関心の深い方なら山形県師範学校中学師範学予備科(のちの山形中学)に学んだこと、満州事変の後、国際秩序の破壊者とみなされてゆく日本との乖離に苦悩しながら、オランダで病没したことに思い至るかもしれない。

安達がオランダの国葬に付されたのは1935年。人の一生に照らせば遠い過去かもしれないが、実際はまだ85年しか経っていない。にもかかわらず、山中・山東の同窓生でさえ、現実と切り離された伝説上の人物のようなイメージを抱いてしまうのはなぜなのだろうか。

安達は例えば、幕末の志士などではない。今日に引き継がれた国際機関、国際裁判の原点となる国際連盟、常設国際司法裁判所の礎を築き、その光と影を映し出す黎明期を、身を挺して支えた現代人なのに、である。

振り返ると、次なる大戦の本土空襲や原爆投下の重い記憶が厚い壁となり、戦前の歴史に対する私たちの関心や思考を遮ってきたことに気づくだろう。軍国・日本の敗戦を「一億総ざんげ」で総括する一方、当時の軍国主義とは明らかに一線を画し、国際連盟の大国・日本が果たした国際秩序の擁護者としての貢献を体現する真に誇るべき人物までも、なぜか消し去ってしまったのだ。安達の業績を詳らかにすることで、かつての軍国主義、国家主義の過誤がより鮮明によみがえるからだろうか。

外交官出身の安達は母国の国益に資するその本分を片時も忘れなかった。公平無私を求められる国際裁判官に転じた後も職務を最優先させ、回想録などを一切残さなかった。確かにその潔さが再評価の間口を狭めてきた。

しかし、国際外交官として第一次大戦後の欧州の秩序回復に尽くした数々の実績、国際法学者として武力によらない紛争解決をめざす国際裁判制度の創設に果たした功績は近年、国際政治や外交史、国際法の第一線の研究者らの熱い視線を浴びて刻々、解き明かされつつある。

安達の死後、鏡子夫人が設立した東京の「安達峰一郎記念財団」(鈴木正真理事長)と山辺町の有志による「安達峰一郎博士顕彰会」(遠藤直幸会長)を通じて、その生涯は連綿と語り継がれてきた。二人の代表者をはじめとする山中・山東同窓生の熱意が正当な再評価への伏流を涸らすことなく、今日まで守り続けてきたのだ。

私は今世紀初頭、全国紙のローマ特派員として中東や旧ユーゴの戦場を取材し、イラク戦争では米軍の従軍記者を務めた。そしてイスラエル・パレスチナ衝突、イスラム国による混乱などの現代の国際問題は、二つの世界大戦をつなぐ「大戦間期」にまで遡る歴史的視点を持たなければ、正しく理解できないことを思い知らされた。

目下の国際社会は、大戦間期後半の悪しき国家主義を彷彿とさせる自国第一主義の波にさらされ、世界経済を分断する感染症の恐怖にさいなまれている。対応を誤れば、二つの大戦の巨大な代償を支払って手にした「戦争は違法」という現代の常識さえ揺るがしかねない。

激動の時代、安達が守り抜こうとした国際協調の思想を知ることは、危機と混迷の現代に新たな光を投げかける。その生誕150年にちなむ催しが昨年、東京と山形で開かれた。今年には記念財団創設60周年にあたる。現代史に深く刻まれた安達の足跡を知らしめるため、今こそ、山中・山東同窓の方々の理解と助力を仰ぎたい。

安達峰一郎記念財団理事 井上 卓弥(継世会)



第9回国際連盟総会の各国代表と会談する(中央・1928年)



スペイン・マドリードの国際連盟理事会で議長を務める(中央・1928年)

※写真はいずれも安達峰一郎記念財団所蔵

編集後記

初めて同窓会報を担当し、山形東高校が同窓会の皆様に愛され、支えられていることを改めて実感しました。同窓生として何ができるのか、皆様の思いを山東生に繋げていけるように励んでいきたいと思えます。VUCAの時代、まさに新型コロナウイルス感染拡大による不確かで先の見えない日々の中で、私たち一人一人の生き方が試されています。事態の収束と生徒たちのあたりまえの日常が戻ってくることを祈念しております。

工藤 淳(継世会) 高橋 明子(東玲会)